第　３　学年　技術・家庭　家庭分野

学習教材および学習の進め方

<table>
<tr><td>使用教材</td><td>技術・家庭　家庭分野（開隆堂）
新家庭総合資料集（正進社）
技術・家庭総合ノート　家庭分野（明治図書）</td><td>持ち物</td><td>使用教材とファイル
筆記用具
エプロン・三角巾・マスク
ふきん・手ふきタオル
（調理実習時）</td></tr>
<tr><td>学習の進め方</td><td colspan="3">＜確かな学力を身につけるには＞
・話をしっかりと聞き、課題に真剣に取り組むなど授業を大切にする。
・授業の準備物など忘れ物をしない。

＜家庭学習では＞
・授業で学習したことを、家庭で実践し技能を身につける。（食事作り・掃除・衣服の手入れや洗濯など）

＜定期テストでは＞
・授業で学習したことを、教科書・資料集・ノートなどを使って復習する。

＜学び合いについて＞
・ペア学習、４人組学習などを通して他の人の考えを聞き、自分になかった発想を知ることで学習を深める。</td></tr>
<tr><td>学習上の注意</td><td colspan="3">・チャイムが鳴る前に授業の準備をし、着席する。
・私語をせず、話をしっかりと聞く。
・みんなで協力し、学習する。
・ノートをしっかりととり、大事な所はマークしておく。
・実習中は、集中して取り組み、安全面に気をつける。</td></tr>
</table>

学習内容および評価規準

	月	単元計画	
一学期	4 5 6 7	・家庭分野のガイダンス C：消費生活・環境 ・消費生活のしくみ/収入と支出 ・いろいろな購入方法/売買契約 ・いろいろな支払い方法/上手な購入 ・なくならない消費者被害 ・消費者を支えるもの/消費者の権利と責任 ・消費行動が社会や環境に与える影響 ・持続可能な生活の創造へ A：家族・家庭と子どもの成長 ・幼児のころと今の自分 ・幼児の体の発達 ・幼児の心の発達 ・発達にとってのおとなの役割 ・遊びが必要なわけ ・遊びを支える環境	期末
二学期	9 10 11 12	・ふれ合い体験の前に ・ふれ合い体験をする ・ふれ合い体験をふり返る ・幼児に必要な栄養を考えよう ・おやつをつくろう	期末
三学期	1 2 3	・子どもの成長と地域 ・子どもの健やかな成長のために ・持続可能な家庭生活をめざして ・世界の子供たち B―３：住生活 ・住まいのはたらき/住まいの空間 ・家庭内事故への備え ・災害への備え ・持続可能な住生活をめざして	

評価の観点	評価の方法（見取り）	
知識・技能	○消費生活や環境、住生活、幼児の体や心の発達と生活の特徴、子どもが育つ環境としての家族の役割、幼児の遊びの意義や幼児との関わり方、などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	・実習 ・テスト ・ノート ・ワークシート
思考・判断・表現	○日常生活の中から、消費生活や環境、住生活、家族の生活などについての問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・実習 ・テスト ・ノート ・ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	○家族の一員として、家族や地域の人々と協働し、生活をよりよくしようと、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭や地域などで実践しようとしている。	・授業への取り組み ・課題への取り組み ・ワークシート